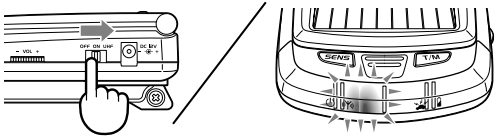


音量 / 受信感度を設定する

※設定は必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源&無線スイッチをONにします。



確認音 (㇏)ピロピロッが鳴り、電源&感度ランプが点滅します。

※節電のため、電源&感度ランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。



押している間はテストモードとなり、警報音が鳴り続けます。

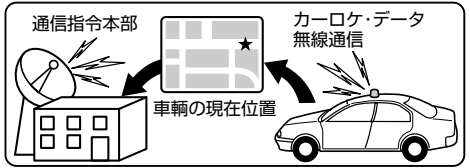
※テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。

カーロケ帯&取締無線受信機能の使いかた

カーロケ無線について

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。



- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

取締無線について

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。

350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

3 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトボタンで切り換えます。



感度ランプの点滅色は、ボタンを押すたびに切り換わります。

ウルトラ感度 (緑色)

カットダウンモード (赤色)

受信感度について

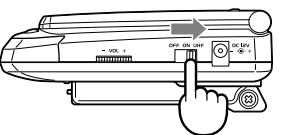
受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	ウルトラ感度モード	郊外や高速道路
	カットダウンモード	市街地

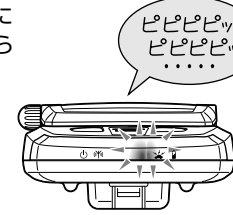
1 設定する

電源&無線スイッチを「UHF」にします。



カーロケまたは取締無線の電波を受信すると…

無線&バッテリーランプが緑色に点滅し、電子音アラームでお知らせします。



- カーロケ無線と取締無線の区別はできません。
- カーロケまたは取締無線の電波を一時でも受信すると、アラームが約5秒鳴ります。
- アラームはミュート機能で消すことができます。また約15秒以上受信が続くと、自動的にミュート機能が働きます。
- アラームが鳴ったあと、30秒以内にもう1度カーロケまたは取締無線の電波を受信してもアラームは鳴りません。
- アラームが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波受信時の警報音が優先されます。

警報機能について

Wアラーム方式

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

音(電子音)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。



●警報が続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラームでお知らせします。【**ステルス識別**】

また、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しても通常波と同様に警報します。【**新Hシステム対応**】

またカーナビからのGPSのモレ電波などの妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数スレを自動補正しています。【GPS排除：特許 第3044004号】

- iDSPを解除することはできません。
- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

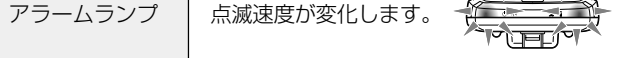
- 警報が約30秒間続くと、警報音が小さくなり、アラームランプも暗くなります。
- ニアミスアラームは、ミュート機能により、一時的に消すこともできます。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

取締り機(電波の種類)	警報音
ステルス型取締り機 (必要なときの、短時間発射される狙い撃ち的な連続波)	ニアミスアラーム(ピロピロピロピロピロッ…)
通常の取締り機(常時発射されている連続波)	警報音が鳴ります。
新Hシステム<新型オービス> (常時発射されている、種類の異なる電波)	電子音は断続音から連続音に変化します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に応じて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	速い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続的に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。



新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

※電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。

本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。【**自動識別&排除設定機能**】

さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。【**自動補正機能**】【特許 第3044004号・第3160272号】

※カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

※自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ている場所から移動して、再度、本機の電源&無線スイッチを入れ直してください。

一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。

便利な機能について

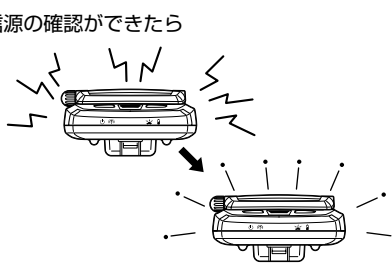
オートクワイアット/ディマー機能

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



取締りレーダー波を受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輪通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。【いつも鳴るから】と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ無線受信機能により、警報することができます。

2. 距離と時間で算出する方法(光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

※これらの方法は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

3. 電波を使って算出する方法(レーダー式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびウルトラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ターン・オン・ビーブ

電源&無線スイッチを入れたとき

や、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



- バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビーブのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。
- 電源&無線スイッチを「UHF」に設定しているときは、「ピロピロッ」のあとに「ビビビビッ」と鳴ります。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	● 電源&無線スイッチがONになっていますか。 ● バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	● 太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ● シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	● 電源が入っていましたか。電源&感度ランプの点滅を確認してください。 ● 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 ● 取締りレーダー波が発射されていなかったか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、計測準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) ● 取締りが「レーダー方式」で行われていなかったか。
取締りもししていないのに警報機能が働く	● ローバッテリーアラームではありませんか。無線&バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ● 電波式の自動ドア、防犯センサー ● 信号機の近くに設置されている車輪通過計測機 ● 気象用レーダー、航空レーダーの一部 ● 他レーダー探知機の一部 ※まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	● 警報が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)
カーナビゲーションの影響を排除できない	● 自動ドアなどの常に電波の出ている場所で電源&無線スイッチをONにした場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ている場所へ移動して、もう1度本機の電源&無線スイッチを入れ直してください。

仕様

※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧 : 3.6V(専用ニッケル水素電池1.2V×3) 12V(シガープラグ入力電圧)	受信周波数 : [レーダー部]Xバンド/Kバンド [UHF部]350~407MHz帯
消費電流 : [待機時]4mA以下(UHF部 OFF時) [最大] 50mA以下	動作温度範囲 : -10℃~+85℃(UHF部 : -10℃~+60℃) (充電可能温度範囲 : -5℃~+85℃)
受信方式 : スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	本体外形寸法 : 66(W)×24(H)×90(D)mm(電池部除く) 本体重量 : 123g(電池含む)

アフターサービスについて

1. 保証書(本取扱説明書に付いています)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼される時

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしかって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
ます、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等についてご不明の点

お買い上げの販売店または右記のご相談窓口にご相談ください。

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

ユビテルで相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日~金曜日10:00~18:00です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしてありません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

■製品の機能・仕様・取扱方法に関するお問い合わせ お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

■修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリアルビル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19